



1 目的

「地域共生社会」の実現に向け、地域課題が複雑化・多様化するなか、市民活動を支えるNPO団体や社会福祉協議会には、これまで以上に地域での活躍と、組織の枠を超えた連携が期待されています。特に中間支援組織には、単独では解決が困難な課題に対し、多様な主体（住民、企業、学校、行政等）を組み合わせ、議論の場をつくる「ファシリテーター」としての役割を担うことが求められています。

そこで本研修会では、講義や実践報告を通じて、地域資源をつなぐ中間支援の具体的な役割を学ぶとともに、分野を越えた協働事例を共有し、地域課題の解決に向けた新たな連携の可能性を探ります。また、グループワークでの意見交換を通じて、各団体の持つ強みや資源を再確認し、自団体で取り組める具体的な「次の一步」を明確にすることを狙いとします。あわせて、中間支援組織等の運営従事者間のネットワークを広げ、継続的な情報交換やさらなる協働につなげる契機とすることを目的に開催します。

◆『中間支援組織とは』

地域住民、NPO、企業、行政等の中に立ち、中立的な立場でそれぞれの活動や連携を支援する組織です。主な機能は、「相談、情報提供、資源（資金や人材等）仲介、コーディネート、ネットワーク推進、政策提案、調査研究」等です。

設置形態は、「公設（NPO等の民間団体に運営を委託している場合もある）、民設（中間支援組織自らがNPO等である場合もある）」があります。

2 主催

愛媛県社会福祉協議会（愛媛県ボランティア・市民活動センター 中間支援プロジェクト委員会）

3 日時

令和8年6月12日（金）13：00～16：20（受付12：40～）

4 会場

宇和島市立中央公民館3階「大ホール」（宇和島市堀端町1-25）

5 対象

市町社協、市町NPO支援センター、NPO・ボランティア団体、行政、地域おこし協力隊、その他地域の課題解決に興味のある方 等

6 定員

30名

7 参加費

無 料

8 内 容

別紙①「プログラム」のとおり

9 申込方法

G o o g l e フォーム (<https://forms.gle/JjLHqJpuzzkU1jWS9>) からお申し込みください。

※1名ごとにご入力ください。

10 申込期限

令和8年6月4日（木）まで

11 連絡事項

(1) 要項のデータは、愛媛県社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。

(URL <https://www.ehime-shakyo.or.jp>)

◆「トップページ」→「ボランティア・NPO」→「愛媛県ボランティア・市民活動センター」

(2) 参加申込書で取得した個人情報は、その取扱いに十分注意し、本事業の参加者管理及び資料への掲載以外の目的では使用しません。

(3) 会場の駐車場は数に限りがありますので、可能な限り公共交通機関等をご利用の上、ご来場ください。満車の場合は、各自で周辺の有料駐車場をご利用ください。

12 問合せ先

愛媛県ボランティア・市民活動センター（担当：宇田・友澤）

愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館

TEL 089-921-8912 FAX 089-921-8939

Eメール vsc@ehime-shakyo.or.jp URL <https://www.ehime-shakyo.or.jp>

※当日連絡先 080-5660-8912（地域福祉課携帯電話／当日のみ）

令和8年度 愛媛県中間支援組織連絡会・交流研修会

『協働』～多様な主体との連携で地域の一步を創り出す～

プログラム

時間	分	内容
12:40～13:00	20	受付
13:00～13:10	10	開会・オリエンテーション 【挨拶】 愛媛県ボランティア・市民活動センター 運営委員長
13:10～13:40	30	【講義】 「中間支援組織・機能とは」(仮題) 愛媛県ボランティア・市民活動センター 中間支援プロジェクト委員会 リーダー 西条まちづくり応援団 理事長 戸田 聖子 氏
13:40～14:40	60	【実践報告】 ○「社協×多主体で描く地域の笑顔 ～コミュニティ農園が育む協働のカタチ～」(仮題) 伊方町社会福祉協議会 保育園児から高齢者まで、多様な主体が自然体に関わる農園づくりの事例です。点在していたニーズを、社協としてどのように声をかけ、一つひとつ結びつけていったのか、現場での試行錯誤や大切にしている視点をご紹介します。背伸びをしない「つなぐ力」のヒントを、実践を通じたリアルなエピソードから紐解きます。 ○「大学がなくても大学生が集う場所 ～次世代を巻き込み、未来を創る組織運営の極意～」(仮題) ブーメランカレッジ 代表 井上 弘一朗 氏 中学校での福祉学習をきっかけに、地域に大学がない環境でも若者たちが集まり続ける「ブーメランカレッジ」の取り組みを紹介します。 「一度きりの体験」をどうすれば「未来へ続く活動」へと広げていけるのか、試行錯誤や大切にしている視点を、等身大の言葉で語っていただきます。
14:40～14:50	10	休憩
14:50～16:20	90	【話題提供・グループワーク】 「つなぐ力を見える化し、わが地域の一步を描く」(仮題) ・わたしたちの“つなぐ力”を見える化する ・分野横断の種や自団体でできる一步は？ 【コーディネーター】 愛媛大学 地域協働推進機構 客員教授・非常勤講師 前田 眞 氏 【ファシリテーター】 愛媛県ボランティア・市民活動センター 中間支援プロジェクト委員会
16:20～16:25	10	閉会